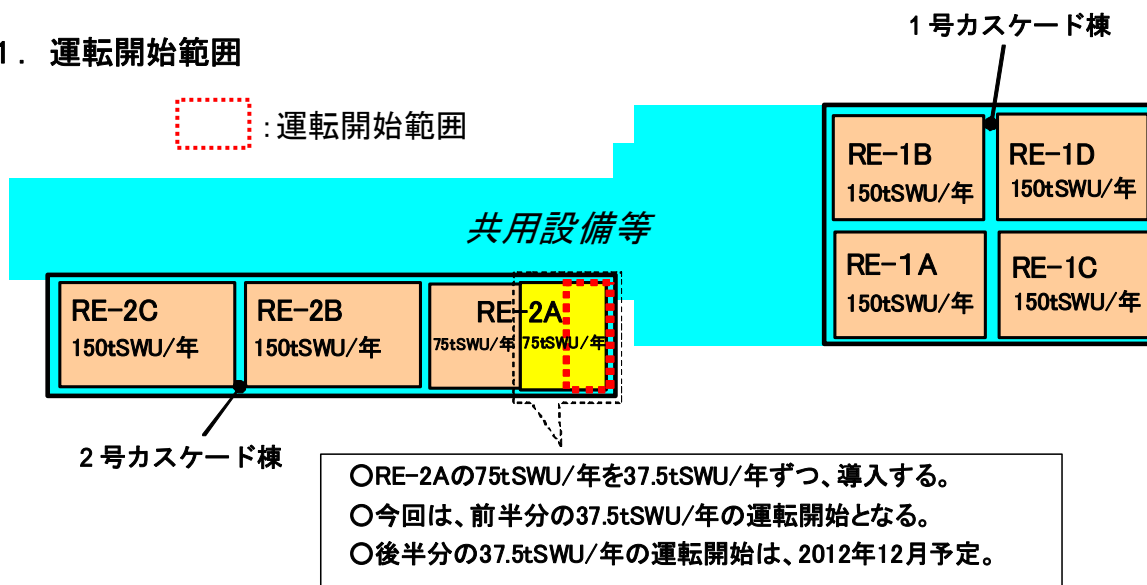


1. 運転開始範囲



2. 慣らし運転の手順

- ステップ1：既設の発生槽からウランガスを発生させ、遠心機はバイパスし、今回、新たに更新した機器（廃品コールドトラップ^{※1}等）へ断続的にウランガスの供給・排気を繰り返し、不純物（水分等）を取り除く。
- ステップ2：カスケード設備^{※2}（遠心機）へ断続的にウランガスの供給・排気を繰り返し、不純物（水分等）を取り除くとともに、遠心機の状態を確認しながら、カスケード設備の運転性能を順次、段階的に確認し、生産運転まで立ち上げていく。

※1 コールドトラップ：ウランを冷却し、気体から固体にして回収した後、温めて気体にする設備
 ※2 カスケード設備：複数の遠心機を連結して、効率よく運転を行う設備

